

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和4年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

資料1

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価							令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績			
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町	
1 圏域全体の経済成長のけん引	ア	産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	1	圏域全体の経済成長のけん引等に係る連携事業数	事業数	16	15	93.8	R5年度までに、4事業を追加することとしており、計画期間後半の4年間で2事業の追加を目指す。	A	B	B	B	B	A	B	A	ポストコロナを見据え、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会や瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会等を開催した。	【さぬき市】ビジョン懇談会等に参加した。 【東かがわ市】瀬戸高松中枢都市圏ビジョン懇談会等で産学金官民連携の懇談会を開催する 【土庄町】高松市が中心となり、産学金官民一体となったビジョン懇談会の運営等を行った。	
			2	幅広い層が集まる「場」づくり事業	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトへのアクセス数	件	5,100	6,946	136.2	H29年度実績（訪問者数）をベースに、圏域人口（ビジョン目標）の1%を最終年度の目標とし、漸増を目標とする。 瀬戸内国際芸術祭2022の開催も相まって、目標値を大きく超えた。	A	B	B	B	B	C	C	ポストコロナを見据え、連携各市町の担当者が集まる事務局会で、事業内容について意見交換を行った。	【さぬき市】ビジョン懇談会等に参加した。 【東かがわ市】ビジョン懇談会での協議を行った。 【土庄町】瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトのPR 【小豆島町】WEB懇談会に参加。 【三木町】会議の設置・運営等に関し、必要な協力を行う。 【直島町】事務局会、ビジョン懇談会等に参加し、協議を行えた。 【綾川町】コロナ禍ということもあり、イベント等の開催がほとんどなかったため活用の実績なし。	
	イ	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	3	中小企業経営力強化事業	講習会等受講者数	人	2,475	1,539	62.2	受講者数については第6次総合計画の指標にもなっており、目標設定は総合計画と同様にしている。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、開催回数や受講者の減少が続き、目標とする受講者数の達成には至らなかった。	C			B	B			高松商工会議所と共催で経営講習会を行い、中小企業経営の近代化・合理化並びに従業員の資質向上に努めた。 令和3年度と比較すると受講者数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響は続いており、受講者数の達成には至らなかった。	【土庄町】実績なし。 【小豆島町】講習会開催に関する町内事業者への周知を行った。	
			ウ	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	4	ブランド農産物育成支援事業	たかまつ食と農のフェスタにおける出展者販売額	千円	9,000	8,670	96.3	事務事業評価表に基づき目標値を設定している。4年ぶりに連携市町参加のもと、イベントを開催し、概ね目標を達成できた。	A	B	C	A	A	A	新型コロナウイルス感染症対策を講じた「たかまつ食と農のフェスタ2023」を開催した。	【さぬき市】たかまつ食と農フェスタにさぬき市から3団体（飯田農園、さぬきワイナリー、ひまわり生活研究グループ）が出展し、特産品のPR及び販売促進を行った。 【東かがわ市】東かがわ市農作物トッパセールスを未実施 【土庄町】たかまつ食と農のフェスタに出展し、町の特産物のPR及び販売促進が図れた 【小豆島町】 【綾川町】令和5年2月25日（土）及び26日（日）に開催されたたかまつ食と農のフェスタに町内の農業者団体であるアグリネット綾川育農部会が参加した。
	ウ	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	5	ふるさと納税に係る共通返礼品の検討	共通返礼品の数	連携市町共同で圏域の地場産品を活用した共通返礼品を検討する。	品	3	5	166.7	共通返礼品としての特別感を感じてもらい、寄附に繋げるためには3品程度が適切と考える。 返礼品数は目標を達成しており、圏域の地場産品のPRに繋がっている。	B	B	B	B	B	B	A	既存の共通返礼品を継続して掲載するとともに、掲載保留としていた観光プランの掲載を開始した。	【さぬき市】観光プランについて、ポータルサイトに掲載した。 【東かがわ市】共通返礼品について、前年度から協議を行っていた「観光プラン」（貸切クルーズなど7点）を追加した。 【土庄町】うどん食べ比べセット・いちご食べ比べセット・人気調味料詰め合わせセットの3品を共通返礼品として運用。 【小豆島町】各自治体の契約サイトに共通返礼品（観光プランを追加）を掲載した。 【三木町】観光プランの追加（7点の共通返礼品のツアー） ○綾川・高松・直島方面 ○小豆島・男木島方面 ○小豆島方面（お手頃プラン） ○小豆島・豊島・直島方面（アート島めぐり） ○東讃方面（さぬき市・三木町・東かがわ市） ○貸切クルーズ 1日間 ○貸切クルーズ 2日間 寄附実績：0円 【直島町】新型コロナウイルス感染症の感染拡大により掲載保留であった観光プランの受付が開始された。 【綾川町】共通返礼品11品
												イ	戦略的な観光施策	6	誘客促進事業観光連携協議会等の設置・運営	観光施設等利用者数	千人	5,960	5,430	91.1

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価						令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績				
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町	
	7	国内誘客促進事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	5,960	5,430	91.1	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】 情報発信等の広域的な観光PRを行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、移動制限や施設閉鎖の対応を取らざるを得ず、観光施設等利用者数も大幅に減少した。	A	B	B	B	B	B	C	B	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興協議会を画面1回、対面で1回開催し、各市町の取組等について情報共有を図り、本年度に向けた取組内容を協議した。	【さぬき市】協議会において、モデルコースの作成に向け、対象者・テーマ等の議論を行った。 ・食でつなぐモデルコース ・サイクリストを焦点にしたモデルコース ・SDGsの学びを含めたモデルコース など 【東かがわ市】これまで実施できていなかった圏域内の観光部署による会を開催した。各市町の取組事例を紹介し、現状を共有した。また、モデルコースの作成について、ターゲットやテーマなどの協議を行った。 【土庄町】HP・SNSを利用して観光情報を発信した。 【小豆島町】神戸市、「さんちか」にて小豆島観光PRチラシ配りを行った。 圏内の玄関口である高松空港において観光PRを行った。 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】高松空港でのイベントには、参加できなかったため、秋の都内イベントでは瀬戸内や香川県をPRしてきた。 【綾川町】HPやSNS、広告等で、町内の魅力を発信し、国内の誘客に努めた。	
	8	海外誘客促進事業	香川県外国人延べ宿泊数	香川県内の外国人延べ宿泊者数	人	700,000	35,170	5.0	【目標の設定方法】 政府目標である「訪日外国人数を2020年に4000万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加を目指す。 【目標値に対する実績の理由】 東アジア4路線の休止をしていたが、高松空港は他の地方空港に先駆けて国際線3路線を再開させ、クルーズ船の国際船の受入も再開したが、コロナ禍前の状況までには回復していない。	D	B	B	B	B	B	C	B	引き続き、高松空港と定期航路で結ばれた台北・上海・ソウル・香港からの観光客を誘致するため、公益社団法人香川県観光協会に対し補助を行った。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】これまで実施できていなかった圏域内の観光部署による会を開催した。各市町の取組事例を紹介し、現状を共有した。また、モデルコースの作成について、ターゲットやテーマなどの協議を行った。 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】外国クルーズ客船の寄港受入に向け、地元事業者と協力してクルーズ船内でのPRを行った。 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】企業（ベネッセ等）が誘致を推進しているため、町としては事業を展開していないが、国際線再開によりR5.3から多くのインバウンドを見かけるようになった。 【綾川町】瀬戸内国際芸術祭に合わせたキャンペーンや山間部を開催地としたやまなみ芸術祭を開催し、誘客に努めた。	
	9	国内外観光客向け情報発信事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	5,960	5,430	91.1	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げている。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響が一定の収まりを見せたことから、観光施設等利用者数も感染拡大前に比べると少ないが、一定数回復した。	A	B	B	B	B	B	C	B	本市多言語観光サイト「エクスペリエンス高松」において、瀬戸内芸術祭の開催もあつたことから、連携都市へのアクセスページを改修した。 また、「やしまー」の完成もあつたことから、屋島方面の記事を取り上げるとともに、注目されやすい場所に屋島の記事を配置する等、話題性を重視した。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】これまで実施できていなかった圏域内の観光部署による会を開催した。各市町の取組事例を紹介し、現状を共有した。また、モデルコースの作成について、ターゲットやテーマなどの協議を行った。 【土庄町】HP・SNSを利用して観光情報を発信した。 【小豆島町】高松空港の国内線発着口において、小豆島町地域おこし協力隊による特産品や観光情報のPRを行い、高松を訪れた観光客の小豆島への誘致を促進できた。 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】HP・観光マップの配布などで情報を発信した。 【綾川町】HPやSNS、観光パンフレットや広告等で、町内の魅力を発信した他、観光PR動画を作成した。	
	10	瀬戸内国際芸術祭推進事業	-	-	-	0	0	-	-	A						A	新型コロナウイルス感染症が流行する中ではあつたが、実行委員会や市内各島との連携・調整を図り、手指消毒等の基本的な対策に加え、島毎の実情に応じた感染対策を適切に実施しながら、瀬戸内国際芸術祭2022を開催した。 また、瀬戸内国際芸術祭2022における来場者数については、新型コロナウイルス感染症の影響で海外からの来場者が大幅に減少したこともあり、前回の6割程度（総来場者数：723,316人）にとどまった。	【土庄町】作品完成式典の開催、瀬戸内国際芸術祭公式イベントの運営協力。 【小豆島町】瀬戸内国際芸術祭2022を開催。新型コロナウイルス感染症対策を行い、島民及び来場者の安全安心を確保しながら、予定期間開催できた。 【直島町】瀬戸内国際芸術祭2022関係機関との調整。		
	11	新たな観光プランの企画、販売等	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	5,960	5,430	91.1	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げている。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響が一定の収まりを見せたことから、観光施設等利用者数も感染拡大前に比べると少ないが、一定数回復した。	B	B	B	B	B	B	C	B	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興のため、（公財）高松観光コンベンションビューローが作成する「ぶち旅プラン（着地型旅行商品）」の企画・販売事業を支援した。 コロナ禍での開催であったが、感染対策を講じながら、企画、販売等を行った。	【さぬき市】協議会において、モデルコースの作成に向け、対象者・テーマ等の議論を行った。 ・食でつなぐモデルコース ・サイクリストを焦点にしたモデルコース ・SDGsの学びを含めたモデルコース など 【東かがわ市】これまで実施できていなかった圏域内の観光部署による会を開催した。各市町の取組事例を紹介し、現状を共有した。また、モデルコースの作成について、ターゲットやテーマなどの協議を行った。 【土庄町】関係市町による観光振興協議会の開催 【小豆島町】本町の取組実績なし。 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】道の駅滝宮において夜間にいちご狩りを楽しむ「夜のいちご園」、うどん発祥の地滝宮でうどんの原形「饂飩」を打って食べることができる「うどんと饂飩」、ゲーム感覚でまち歩きができる「フォトゲーミング」を開催した。	
	12	イベント交流の促進	まつり・イベント入込み客数	観光客誘致に資するまつり・イベント実行団体発表の入込み客数をカウント	人	828,300	436,530	52.7	【目標の設定方法】 より効果的な周知宣伝活動により、イベント入込客数について、5年後に1割増を目標に掲げ、設定。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、入込数は目標を下回った。	B	B	B				B	C	A	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染症対策として、開催日数を少なくするなど、規模縮小して開催した。	【さぬき市】コロナ禍で中止となっていた「ショウブまつり」、「さぬき市冬のうまいもまつり」などが開催された。 【東かがわ市】コロナ禍において中止となっていた「引田ひなまつり」や「風の港まつり」が実施できた。 【三木町】R4.10.22に三木町の秋大祭「獅子たちの里 三木まんて願。」を規模を縮小して開催 【直島町】圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】9月3日（土）、道の駅滝宮にて、コロナウイルスにより影響を受けた町内飲食店、食品加工販売業者の支援のため「饂飩」を開催した。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和4年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

資料1

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価							令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
	13	デリバリーアーツ事業	鑑賞者数	参加を希望される協力団体の提供場所の規模により、鑑賞者数に偏りがあるため、鑑賞者数では判断しきれない。限られた予算の中で、公演の質の維持と事業を継続していくことを重点に実施する。	人	2,100	1,956	93.1	事務事業評価と合わせた鑑賞者数で目標設定を行う。新型コロナウイルス感染症の影響により、鑑賞者数は目標値を下回ったものの、開催した団体からは好評であるため再度実施したいという要望が多く、満足度は高い。また、市民の身近なところで文化芸術に触れる機会を提供するという事業目的も達成している。	B	B	B	C	C		A	新型コロナウイルスの影響により、病院開催分が中止となったものの、感染症対策を講じながら、令和4年8月から令和5年1月までの期間で、瀬戸フィル音楽会、和太鼓、マリンバ、フラダンス、影絵劇、バルーンパフォーマンス、邦楽コンサートの7メニュー、21公演を実施した。また、このうち圏内では、東かがわ市で3公演、さぬき市で1公演、綾川町で2公演、土庄町で1公演を実施した。	【さぬき市】さぬき市民文化祭津田まち祭に瀬戸フィルハーモニー交響楽団を呼び、プログラムに組み込んだ。 【東かがわ市】瀬戸フィル音楽会及び讃岐国分寺太鼓の公演会を開催した。計3公演開催し、新型コロナウイルス感染症対策として来場者を制限しながらも多数の市民が参加した。 【土庄町】コロナ対策を万全にとって運営を行った。 【小豆島町】 【綾川町】2回実施 内容：フラ&ハワイアンミュージック 日時：R4年10月1日 14時から 場所：綾川町立昭和公民館 来場者数：約30人  内容：フラ&ハワイアンミュージック 日時：R4年10月2日 14時から 場所：綾川町立陶公民館 来場者数：約30人	
	14*1	文化芸術鑑賞等の機会の提供	鑑賞者数(劇団四季ミュージカル鑑賞)	児童、先生を合わせた鑑賞者数(連携市町分含む)高松市と連携市町の全6年生を招待しているため、児童数と引率教員数が鑑賞者数となる。平成25年～27年の平均鑑賞者数を基に目標比を算出する。(H25:4,985人、H26:5,323人、H27:5,143人)	人	5,300	4,074	76.9	直近3年の平均鑑賞者数を基に目標値を算出する。児童数と引率教員の合計数がそのまま鑑賞者数となるため、その年の児童数の増減による。なお、令和2年度～4年度は実施を見合わせたため、平成29年度～平成31年度の平均鑑賞者数を目標値とする。	B	A	B	B	B	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、公演動画の提供に代えた。実績値は動画鑑賞者数である。 【さぬき市】劇団四季「こころの劇場」ミュージカルの映像視聴を実施 ※市内7小学校(津田、さぬき南、志度、さぬき北、寒川、長尾、造田) 【東かがわ市】文化芸術鑑賞の場の提供は他地域との連携事業にて同内容のものを実施している。教育プログラムの都合上併用は難しく当該圏域による事業実施にはつなげていない。 【土庄町】新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた劇団四季ミュージカル公演が中止。 豊島小学校のみ動画配信視聴による動画鑑賞 【小豆島町】町内4小学校の6年生が、劇団四季ミュージカルをオンラインにより鑑賞した。 【三木町】町内全小学校(4校)の6年生が、動画での劇団四季ミュージカルの鑑賞を行った。 【直島町】動画視聴人数21人(6年生 児童20人、担任1人) 【綾川町】オンライン鑑賞により町内の全小学校6年生が視聴できた。		
	14*2	文化芸術鑑賞等の機会の提供	参加校数(美術館学習)	参加校数	校	35	23	65.7	H28年度実績(32校)を基に設定。	B	B	B	B	B	B	C	C	高松市内の小中学校に美術館学習の周知を行い、参加を希望する学校に対して、美術館での鑑賞学習及び施設見学等を実施した。また、高松市内及び連携する市町圏域内の小・中学校に特別展チラシを配布し、美術鑑賞の機会を設けた。 【さぬき市】取組なし。 【東かがわ市】既存の授業日程の都合上利用が難しく事業実施にはつなげていない。 【土庄町】実績なし 【小豆島町】実績なし 【三木町】取組実績なし。 【直島町】取り組み実績なし。 【綾川町】鑑賞校なし	
	15	観光バリアフリーのためのUDマップ作成・活用事業	UDマップ掲載HP閲覧数	連携中枢都市圏のHPにUDマップを掲載する予定のため、掲載後のHP閲覧者数をKPIとする	件	24,720	142,692	577.2	UDマップを導入した翌年度(R1年度)の閲覧件数を基準に、R5年度までに毎年120件ずつの増を目指すこととしている。目標達成の理由としては、昨年度、登録されている全施設を対象に、掲載情報の確認や更新を行ったことや出前ふれあいトークや広報誌等においてUDマップの周知をしたことが要因の1つと考えられる。	A	B	A	B	A	A	B	A	UDマップに登録されている全施設を対象に、掲載情報の確認を行い最新情報に更新をした。 【さぬき市】施設のUD対応状況を提供した。 【東かがわ市】連携中枢都市圏のHPに市内施設の情報を提供した 【土庄町】町内小学校の1校が参加。 【小豆島町】UDマップ上に掲載。 【三木町】UDに対応した施設等の情報提供及び発信。 【直島町】年度未現在、12施設が登録している。 【綾川町】新たに追加した項目はない。	
2 高次の都市機能の集積・強化	ア	高度な医療サービスの提供	16	医療人材の確保・育成	看護師等養成所卒業生の資格取得率	看護師等養成所の運営に対して助成を行い、卒業生の資格取得率の向上を図ることで、新たな医療人材の確保を達成する。	%	100	94	94.3	平成28年度から最終年度まで卒業生全てが資格を取得すると想定し、100%を目標値として設定している。令和4年度は卒業生のうち94.3% (105人中99人)が資格を取得することができた。	A					A	看護師及び准看護師の養成所(高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属看護学院)の運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保を図った。 【三木町】木田地区医師会附属看護学院の運営に対して助成を行った。	
			17	医療職員の交流等	地域医療連携カンファレンス・セミナーにおける高松市外参加者数	地域の連携医療機関の医師との医療連携を進めるため、地域医療連携カンファレンス・セミナーを開催し連携強化に努める	人	20	3	15.0	地域医療連携カンファレンスは4年7月14日にクレメントホテルで開催。また連携セミナーは8回のズーム開催を行った。 会場参集での研修は新型コロナ感染状況を確認しながら1回実施となった。食事提供は飛沫感染の懸念となるため行わず、講義提供と交流のみとなった。ウェブ参加での場合は高松市以外の職員も参加可能であったため、数名の実績が得られた。 【さぬき市】高松市立みんなの病院主催にて、前年度に引き続き、徳島大学大学院胸部内分科野教授を講師とし地域医療連携カンファレンスを1回、地域医療連携セミナーを8回開催された。 【土庄町】市民病院主催の研修会 【小豆島町】市民病院主催の研修会 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【綾川町】高松市在宅医療コーディネーター養成研修に参加 1名								



瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和4年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

資料1

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価						令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績						
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	連携市町評価											
											さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町			
イ 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	18	ICカードを利用した公共交通利用促進事業	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、ICカード「I r u C a」を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	2	3	150.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。R4年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	A	B	B	B	A	A	R4年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】R 四国各駅での利用・導入に係る検討状況等について協議した。 【土庄町】航路及び路線バスの利便性向上を図るため、バス及び航路でICカードが利用できる旨の周知広報及び運転免許証自主返納支援事業としてICカードの発行を引き続き行った。 【小豆島町】- 【三木町】担当者間で事業促進の協議を行い、広報などでICカードの利用促進についてPRした。 【綾川町】ゴールドイカ事業を継続実施。 セーフティイカ（70歳未満の運転免許証返納者）へのサービスも継続実施。					
	19	大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成	大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数	事業	115	125	108.7	年間3事業ずつ連携事業数を増やし、R5年度までに110事業を目指す。コロナ禍においても連携事業が定着しており、新たな事業も実施されることで目標を超えることとなった。引き続き、更なる連携に向けて取り組んでいきたい。	A	B	B	B	B	C	B	「大学・地域共創プラットフォーム香川」の中で、若者の定着を目指したアイデアソンの実施によって、新規事業を検討した。また、学長・校長と市長との懇談会において、若者から選ばれた大学づくり、まちづくりについて意見交換を実施した。	【さぬき市】職員の香川大学地域マネジメント研究科での就学を支援している。 【東かがわ市】本市の就職推進センターが大学のキャリアセンター等と連携し、学生の圏域内企業への就労に向けた支援を行っていた 【土庄町】連携事業の実施には至っていないが、町として各大学と域学連携事業を行った。 【小豆島町】イベントの実施、地元企業へのインターンシップ、ワーケーション実証実験事業等に参画。 【三木町】庁内各課に香川大学との連携事業について照会をかけ、改めて連携事業数を把握。 【直島町】直島町まち・ひと・しごと創生推進会議委員等、町単独での取り組みは香川大学と実施しているが、圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】多文化共生とまちあるきを通じた情報発信において、学生プロジェクトと連携し、事業を実施した。				
	20	産学官連携推進事業	大学及び企業等との連携事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業等との連携事業数	事業	172	215	125.0	大学等との連携・協力事業数及び包括連携協定等を締結する企業等との連携事業数の合計とし、R5年度までに170事業を目指す。R4年度は、新型コロナウイルス感染症の対策に配慮しつつ、目標を達成した。	A	B	B	C	C	C	B	年度前半は、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、9月以降の政府の新型コロナウイルス感染症対策の方針転換もあり行動制限が緩和されたことを受け、各種連携事業を推進しやすくなったこともあり、目標を達成できた。また、2者と新たな包括連携協定を締結した。 包括連携協定締結後、各連携事業が形式的に実施されたり、終了されたりするなどの課題もある。	【さぬき市】2企業と新たに包括連携協定を締結した。 【東かがわ市】市独自で香川大学との域学連携を継続しているが本市の活性化のみを協議、検討している。 【土庄町】連携事業の実施には至っていないが、町として各大学と域学連携事業を行った。 【小豆島町】・石丁場調査委員会による新たな石丁場の発見調査（徳島文理大学） ・クラダシヤレンジ（香川大学及び都市圏の大学） ・せとち観光専門職短期大学と連携した観光セミナー（全4回）の実施 【三木町】地域公共交通の項目で連携事業を実施。 【直島町】直島町まち・ひと・しごと創生推進会議委員等、町単独での取り組みは香川大学と実施しているが、圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】多文化共生とまちあるきを通じた情報発信において、学生プロジェクトと連携し、事業を実施した。また多文化共生分野については、企業と協力して事業を進めることができた。				
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	(ア) 地域医療	生活機能の強化に係る政策分野	その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策	21	データ活用型スマートシティ推進事業	連携して収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	IoT共通プラットフォームを活用して、各市町と連携し、収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	分野	2	1	50.0	R5年度KPI目標を見据え、連携するデータ分野の拡大を目指し、R4年度目標を設定。R4年度は、新しいデータ分野の連携には至らず、R3年度の状況維持となった。	A	B	A	B	B	C	B	本市のIoT共通プラットフォーム（FIWARE）の共同利用について、綾川町と締結している協定に基づき、R2年度より防災分野において、水位計データや降水量データ等の共有・可視化等を実施している。（なお連携中枢都市圏以外で観音寺市とも共同利用を実施している。）	【さぬき市】事務局会での情報交換を行った。 【東かがわ市】瀬戸・たかまつネットワークの関係者による情報連携 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】高松市との連携体制の構築。 【三木町】関係者間の調整を行った。 【直島町】運用コスト面など引き続き検討を行った。 【綾川町】出水期において避難指示を発令するような事例がなかったため、実績としては特になが、水位監視と監視カメラは正常に稼働している。
					22*1	高松市立病院運営事業	紹介率（市民病院）	患者の紹介・逆紹介等の実施により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携町からの患者を受け入れる。	%	50.0	73.6	147.2	R5年度KPI目標を見据え、連携するデータ分野の拡大を目指し、R4年度目標を設定。R4年度は、新しいデータ分野の連携には至らず、R3年度の状況維持となった。 紹介率50%以上	A			A	A	B	A	B	【土庄町】小豆島中央病院からの紹介5件、逆紹介7件 【小豆島町】小豆島中央病院からの紹介5件、逆紹介7件 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【直島町】2件 【綾川町】みんなの病院への紹介は10件となっている。
					22*2	高松市立病院運営事業	逆紹介率（市民病院）	患者の紹介・逆紹介等の実施により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携町からの患者を受け入れる。	%	70.0	84.4	120.6	逆紹介率70%以上	A			A	A	B	A	B	【土庄町】小豆島中央病院からの紹介5件、逆紹介7件 【小豆島町】小豆島中央病院からの紹介5件、逆紹介7件 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【直島町】1件 【綾川町】20名の紹介があった。
23	救急医療体制の確保	市民満足度における「医療体制の充実」の満足度	休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図ることで、市民が安心して暮らすことのできる環境づくりを目指す。	%	45	45	100.2	平成28年度から毎年度0.6%ずつ上昇させ、最終年度に45.3%の目標値を設定している。令和4年度市民満足度調査の結果において44.6%であった。	A					A	A	A	A	【三木町】在宅当番医制事業運営費等負担金（木田地区医師会・木田郡歯科医師会） 病院群輪番制運営費負担金 病院群輪番制病院設備費負担金 【直島町】休日在宅当番医制及び病院群輪番制ならびに高松市歯科救急医療センターの運営について支援を行った。 【綾川町】令和3年度実績 参加医療機関数 16 年間救急患者数 1,425人（うち転送患者数40人） ※令和4年度実績については報告書提出時期が数か月あとになります				

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価						令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町
	24	救急艇の活用	-	-	-	0	0		瀬戸・高松広域連携中枢都市圏救急艇運用協定に基づき、直島町、小豆島町及び土庄町からの患者搬送体制を維持している。	A			A	A		C	救急艇搬送実績 直島町 0件 0名 小豆島町 3件 3名 土庄町 27件 28名	【土庄町】救急艇搬送実績 土庄町住民 14件 小豆島以外住民 1件 【小豆島町】搬送実績 土庄町：14件 小豆島町：15件 他市町：1件 【直島町】夜間の高松方面へ搬送する場合について利用を検討した。
	25	島しょ部（土庄町及び小豆島町）への医師派遣事業	医師派遣件数	医師の派遣に関する協定に基づく、派遣件数	件	0	0		高松市立みんなの病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院に派遣した回数	D			D	D			取組実績なし (小豆島中央病院からの派遣要請が、平成29年度末で、一旦終了したため)	【土庄町】実績無し 【小豆島町】実績無し
	26	遠隔医療ネットワークを使った連携	医療情報公開実績件数（H28からの累計）	患者さんの同意に基づき、参加医療機関からの求めに応じた診療情報（画像・カルテ等）の公開件数 年50件、H28～H35までの8か年の累計	件	50	364	728.0	過去実績等を踏まえた目標設定に対し、引き続き開業医への訪問時等の機会を捉え、K-MIXの利用促進を図ったことにより、実績は目標を上回った。	A	A		A	A	B	B	かかりつけ医との情報共有を図ることにより、地域における高度かつ効率的な医療の提供に貢献した。	【さぬき市】大学病院をはじめとする他医療機関と連携し、運用している。 【土庄町】実績無し 【小豆島町】実績無し 【三木町】なし 【綾川町】0件
	27	「地域包括ケア病棟」運用事業	在宅復帰率	地域包括ケアシステムの中で、その一翼を担うため、地域包括ケア病棟の開設し、患者の在宅復帰支援を行う。（在宅復帰率）	%	70	83	118.6	在宅復帰率は施設基準上の指標であり、在宅復帰率7割を満たすことが必須である。	A	A		B	B	D	B	地域包括ケアの後方支援を強化するため、「地域包括ケア病棟」を設置するとともに、入院支援や在宅医療支援、医療福祉相談などを一元化して提供できるよう「地域医療・患者支援センター」において、急性期を脱した患者の在宅復帰を支援した。	【さぬき市】地域包括ケア病棟の運用において、早期から看護師や理学療法士等が患者に関わるとともに、MSWによる積極的な在宅支援に努め、在宅復帰率の向上を図った。 【土庄町】 【小豆島町】— 【三木町】取組みがないため評価なし 【綾川町】地域包括ケア病床を活用し、在宅復帰の向け取組みに努めた。
	28	がん検診の広域化	高松市医療機関でがん検診を希望した者のうち、検診受診につながった者の割合	-	%	1	1	100.0	連携市町のがん検診実施機関の整備状況に合わせ、各市町住民のがん検診受診の利便性を図り、受診機会を確保し、がんの早期発見・早期治療を促すものです。そのため、高松市の医療機関で子宮頸がん・乳がん検診を希望した連携町の住民が、全員受診できることを目標としています。	A					A	連携を希望する直島町と協議し、市医師会との調整を図った。子宮頸がん5人、乳がん検診2人が受診。	【直島町】受診を希望する方が希望医療機関で受診ができるよう受診予約調整を行い、受診につながるよう支援を行った。	
(イ) 介護	29	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業	当該事業所周知率	当該サービス事業者の指導・監督権限を有するため周知を行った割合	%	100	100	100.0	当該サービス事業者の指導・監督権限を有する施設を目標値とし、周知を行った件数を元に評価した。	A					C	高松市地域密着型サービス事業者指定に係る制限に関する要綱において、本市域内の地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）については、原則、本市転入後6ヶ月を経過しない者の利用又は入居はできないが、当該サービス事業所がない直島町からの転入者には、6ヶ月が経過していても利用又は入居できる運用とする。	【直島町】当該地域への認知症対応型共同生活介護への入所希望の相談件数は0件。	
	30	在宅医療・介護連携推進事業	医療・介護関係者が多職種連携についてできていると評価した点数（10点満点）の平均	多職種連携研修等に参加している専門職による、地域の多職種連携構築度評価の平均得点（最高10点、最低0点）	点	7	6	80.0	多職種間での連携体制を構築することを目標とし、連携が取りやすくなるように事業に取り組んだ。事業の実施にあたり工夫した点は①感染防止の観点からミーティング等の開催をハイブリッド形式で開催②様々な職種が、連携しやすく感じるようなテーマ内容とした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、研修等の開催も対面形式で行えず、実施する内容も制限された。また、実際に連携を取ろうとしても顔の見える関係づくりまではできにくい状況であったため、前年度より0.5点上昇したものの、目標達成までは至らなかった。	B					B	C	在宅医療・介護連携推進事業の8事業項目において、更に内容を充実させるため、下記の事業に取り組んだ。 ・在宅ケア便利帳（Web版）の維持・管理 ・在宅医療支援センターの運営 ・入院支援ルール及び情報共有シートの周知・啓発 ・ACPの普及・啓発及びコーディネーターの養成 ・多職種連携体制構築のためのミーティング、研修会等の開催	【三木町】「在宅医療・介護連携推進協議会」は毎年6回予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、1回中止、1回文書開催となり、通常開催は4回となった。 ・普及啓発講演会・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・R5普及啓発講演会の準備 ・「みきまんでがん手帳」の見直しの検討 ・テーマ「人生の最期に向けての支援」で体制検討部会の中で多職種の委員で問題点等を協議した。 【直島町】今年度は情報交換会に参加できなかった。

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価						令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績				
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町	
	31	地域包括支援センター運営事業	自立高齢者率	介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合 (%)	%	79	79	100.5	圏域内の市町と情報交換会を開催し、地域包括支援センターの運営に関する取組について意見交換やノウハウを共有することで、自立高齢者率向上の一助となった。	A	B	A	B	B	A	C	A	情報交換会をWEBにて開催し、地域ケア小会議やBCP計画作成の進捗状況等、喫緊の課題について情報共有や意見交換等を行った。	【さぬき市】介護予防教室 いきいき健康教室 283回/年 元気のからり教室 839回/年 ・介護予防サポーター活動回数 1回/2か月程度 【東かがわ市】地域包括支援センターにかかる情報交換会に1回参加 【土庄町】1名参加 【小豆島町】高松市の呼びかけにより情報交換事前議題提出。WEB会議にて3名出席し、各市町の状況が確認できた。 【三木町】関係市町情報交換会に、総合相談で身寄りがない、疎遠な事例について、死亡時の対応等の議題提出し、他市町の情報を聞き、問題の共有ができた。 【直島町】今年度は情報交換会に参加できなかった。 【綾川町】通いの場や100歳体操の再開や新規参加へ周知、後方支援を継続。	
	32	徘徊高齢者保護ネットワーク	徘徊高齢者保護ネットワークによる発見率	徘徊高齢者保護ネットワークに提供された、徘徊高齢者の捜索依頼件数に対する発見割合	%	300	300	100.0	行方不明高齢者の全員を発見することを目標としているが、高松市内で発生した、8件の捜索依頼のうち8件全てを発見できたことによるもの。	A	B	B			A	A		認知症高齢者の行方不明事案が発生した場合に、警察署や市役所の関係課などの関係機関が連携する「認知症等行方不明高齢者保護ネットワーク」を活用し、より広域で行方不明高齢者の情報を共有化することにより、当該高齢者の早期発見に取り組んだ。令和4年度の連携中枢都市圏でのネットワーク利用は、0件であった。	【さぬき市】周辺市町との徘徊高齢者保護ネットワークを活用した件数 ・他市町への保護要請依頼 0件 ・他市町からの保護要請受託 1件 【東かがわ市】かがわ高齢者見守りネットワークにより広域的に実施 【三木町】本町より1件県内市町村に協力依頼をした。今年度、県外に向けての依頼実績はなし。 日常的には警察から保護事案において連絡を受けて、連携しており、R4は10件連絡があった。 【綾川町】当町のネットワーク（綾川町高齢者声かけ・見守りまちかどほっと歓事業）における徘徊高齢者のメール配信依頼件数は1件であった。また徘徊高齢者位置情報探索システム補助申請は2件であった。	
	33	介護認定審査会事業	介護認定審査会開催件数	原則週2回開催される介護認定審査会開催の開催数（グループ毎の合計）	回	670	570	85.1	目標値の根拠：認定審査会の年間開催予定数を目標値とする。 評価の理由：審査案件数が少ない週は認定審査会が不開催となる合議体も発生するため、目標値を下回った。	A					A	A	A	3町から委託された審査案件全てを認定審査会にて審査・判定し、要件に合致する認定申請については、認定審査会を簡素化して実施した。簡素化の実施により、1回の審査会で審査・判定できる審査案件数が増加したため、認定審査会の年間開催予定数を簡素化実施以前より減少させている。 11月に予定していた1市3町連絡会は新型コロナウイルス感染症防止のため、開催中止とした。	【三木町】介護認定審査会開催 50回 【直島町】介護認定審査会を依頼。依頼件数は180件。 【綾川町】開催件数・・・50回 審査会委託件数・・・787件	
	(ウ) 福祉	34	自立支援協議会運営事業	全体会開催回数	定期的な情報共有を図るとともに、検討する場として開催している、全体会開催回数を成果指標とする。	回	2	1	50.0	例年通り年2回開催を継続	A					A	A		新型コロナウイルス感染症の影響で12月にメールでの情報交換にて代替した。資料を全会員に送付し質問や意見を一定期間内に収集し、担当者がそれにこたえを準備しさらに全会員へ送付することで意見交換と共有を図った。	【三木町】高松圏域自立支援協議会の運営費を負担するなど、運営事業について支援した。 【直島町】コロナの影響でできなかったこともあるが、毎月開催の自立支援協議会運営会議、子ども部会・発達障害部会医ケア部会に随時出席。
		35	障害支援区分審査会業務の連携	審査会開催回数	原則毎週水曜日に審査会を開催していることから、開催回数を成果指標とする。	回	50	48	96.0	年間最大50回の開催を継続。	A					A	A	B	・審査会を48回開催し、市と3町の審査について、引き続き連携した。 ・審査件数：高松市820件、三木町53件、直島町4件、綾川町56件	【三木町】審査依頼件数 63件 【直島町】障害支援区分の認定審査を依頼。依頼件数は3件。 【綾川町】問題等を含めた検討の場を設けるまでには至らず、審査会への依頼を電話やメールの通信手段にて問題解決に努めた。
		36	ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	8,000	9,382	117.3	過去の実績等から目標を設定した。 R4年度は、広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。	A	B	B			B	B		援助活動件数：8,537件 会員養成講座：年間で計3回開催、会員スキルアップ講座：年2回開催、会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：32・33号発行	【さぬき市】会員登録者数（おねがい会員247人、まかせて会員148人、どっちも会員7人） 援助活動実績数845件 【東かがわ市】市外在住で東かがわ市に勤務している保護者1名の登録がある（おねがい会員）。 【三木町】出張登録会を1回行うことができた。 子育てパンフレット「みきぼん」に掲載したり、保育所・幼稚園・学校等にリーフレットを配布するなどして、子育て家庭へ事業の周知を行った。 【綾川町】年に2回のファミリーサポートセンター出張登録会、広報綾川への出張登録掲載を行った。子ども子育て支援拠点での出張登録会では、関心を持った保護者と話ができた大変好評だった。
(エ) 教育・文化・スポーツ	37	移動図書館巡回事業	貸出冊数	直島町の巡回ステーション2か所における年間図書貸出冊数	冊	7,000	4,694	67.1	計画当初より、目標値は固定して設定しており、順調に推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ここ3年は減少になっている。今年度は感染症対策の緩和により、利用者数及び貸出冊数の拡大が見込まれる。	A					A			新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、毎月1回、移動図書館車が直島町内の2ステーションを巡回し、図書館サービスを提供した。	【直島町】年間利用者のべ472名 ・同貸出し冊数4,694冊	



連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価							令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
	38	読書推進ボランティア養成事業	講座受講者数	読書推進に係るボランティア養成講座の年間受講者数	人	170	252	148.2	目標値はボランティア養成講座の各定員の合計人数としている。これまで各団体が個別に実施していたボランティア等を対象にした養成講座を広域連携として実施することにより、各団体における経費等の負担軽減が見込める。しかしながら、各団体のスケジュール等の都合により広域連携の参加者数が増えている。	A	B	B	D	B	B	C	B	視覚障がい者支援やおはなし会、ストーリーテリングについて、読み聞かせボランティア等の技術の習得や向上を図るため、連携市町のボランティア(グループ)も参加対象として、講座を4回実施し、252人(広域0人)の参加があった。なお、情報共有として、各市町へ開催報告を行っている。	【さぬき市】おはなし会スキルアップ講座を行った。 ・令和4年5月8日 コロナ対策のため、午前、午後各1回ずつ開催した。 各6名定員募集で12名の参加があった。 【東かがわ市】研修会の計画をする際の参考や館内で利用者に周知している 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】チラシ頒布。 【三木町】前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響にて対面では実施できていないが、WEB方式にて研修会を実施した。 【直島町】例年実施しているメンバーであるため、研修会等は取り組み実施がなかった。 【綾川町】受講者数 0人。 事業の実績報告及び講座で用いた資料の提供をうけ、図書館へ配布。
	39	帰国児童等支援事業	帰国児童等への日本語指導等対応率	指導を行った件数/指導が必要な帰国児童等	%	300	163	54.3	帰国児童等への日本語指導等に十分に対応でき、児童生徒の円滑な学校生活や学習支援に寄与した。	B						C	A	近隣自治体と要支援情報等について情報を共有し、支援が必要な児童生徒の対応に生かした。また、近隣自治体にも情報提供を行った。帰国児童等の急な入れ替わりや増員により、日本語指導者の派遣が難しいものとなった。	【三木町】取組実績なし 【綾川町】対象児童生徒：小学校2名、中学校1名 週1時間
	40	特別支援教育推進連携事業	相談希望校等への相談訪問率	相談訪問件数/相談希望校数	%	400	400	100.0	発達障害など、個の教育的ニーズに応じた支援の在り方について相談を希望した学校すべてに、専門指導員を派遣し、特別支援教育の充実を図ることができた。	A			B	B	B		A	・特別支援教育に関する研修会をオンラインで実施し、各市町から参加した。 ・特別支援教育に関する情報交換を行い、各市町の状況を共有することができた。	【土庄町】高松市が行う特別支援に関する研修会にオンラインで参加し、職員の資質向上に努めた。 高松市を中心として、特別支援教育に関し、メールによる情報交換が実施された。 【小豆島町】7月の研修会に特別支援担当の教員6名が研修会に参加した。 【三木町】連携事業や特別支援教育研修会等について情報交換を行った。 【綾川町】学期に1回全校を訪問した。
	41	こども未来館学習体験事業	こども未来館学習参加校数	こども未来館学習参加校数	校	50	63	126.0	【R4年度の目標設定方法】高松市内の小学校と瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校を合わせて、50校としていた。 【目標値に対する実績の理由】R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響もなく、希望するすべての小中学校で実施することができた。実施校は63校となり、目標値を大きく上回った。	A	A		A	A	A	A	C	小学校58校(市内小48校、連携小10校)及び高松市内の中学校5校の合わせて63校がこども未来館学習を実施した。	【さぬき市】さぬき市内 小学校3校実施 ・造田小学校 R4年6月2日 4年生 ・寒川小学校 R4年9月15日 4年生 ・寒川小学校 R4年12月1日 4年生 ・長尾小学校 R4年12月12日 4年生 【土庄町】町内小学校の1校が参加。 【小豆島町】町内の小学校から1校が参加した。 【三木町】学校行事の関係で、小学校4校のうち3校の実施となった。 【直島町】参加者数 21人(児童19人、引率教員2人) 【綾川町】利用校なし
	42	史跡・遺跡の調査研究及び発信	講座等参加者数	圏域内の史跡・遺跡の調査研究について、講座等でその成果を紹介し、情報発信を連携して行う。その参加者数	人	1,800	2,198	122.1	連載講座や見学会を開催したほか、市政出前ふれあいトーク等を通じて遺跡の調査研究の情報発信を行った。	B	B	A	C	C				新型コロナウイルス感染対策のため、参加定員を抑え、安全対策を講じて実施した。 連載講座の実施 4回 講座や見学会、出前講座の実施 45回 学校出前講座の実施 8回	【さぬき市】市内の遺跡から出土した遺物についての情報交換を行った。 【東かがわ市】引田城跡啓発事業(引田城ガイド)を実施し、25回323人の参加があった。 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】なし。
	43	高松市埋蔵文化財センターの運営	施設利用者数	埋蔵文化財の調査技術、調査成果等に関する情報交換を行うとともに、埋蔵文化財の情報発信事業(展示等)のための資料の相互貸借を行う。その利用者数	人	1,600	2,113	132.1	企画展や体験講座等を実施して、イベントに参加する機会を設けた。	B	B	A	B	B			B	新型コロナウイルス感染対策のため、参加定員を抑え、安全対策を講じて実施した。 企画展の開催 2回 企画展講座の開催 1回 夏休み講座の開催 4回 体験講座の実施 1回	【さぬき市】市内の遺跡から出土した遺物についての情報交換を行った。 【東かがわ市】本市歴史民俗資料館発行の文化財関連の図書を送付し、文化財に対する情報を提供した。 【土庄町】連携した事業は実施していない。 【小豆島町】なし。 【綾川町】実績なし。
	44	中学校総合体育大会等の連携	中学校総合体育大会等における実施競技数	中学校総合体育大会・中学校新人体育大会における実施競技数に、中学校駅伝競走大会を加えた競技数	競技	18	18	100.0	例年実施している競技の大会を継続して開催することにより、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な生徒の育成を図ることができる。また、新人体育大会、総合体育大会、駅伝競走大会を開催し、部活動等での練習の成果を発揮することができた。	A						A	B	高松地区総合体育大会、高松地区新人体育大会及び高松地区駅伝競走大会の開催	【三木町】総合体育大会・新人戦に参加した。中学校駅伝競走大会には参加しなかった。 【直島町】・中学校総合体育大会 参加競技数4種目(参加生徒数のべ29人) ・中学校新人体育大会 参加競技数3種目(参加生徒数のべ21人) ・中学校駅伝競走大会 参加なし

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和4年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

資料1

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価							令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績			
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町	
(オ) 土地利用	45	高松市屋島競技場の活用	屋島競技場利用者数	屋島競技場の利用者数(旧屋島陸上競技場閉場前3年間平均値:62,827人)	人	118,744	132,435	111.5	旧屋島陸上競技場利用者数と比較して、R4年時点で、利用者数の1.89倍(118,744人)を目標とした。休場期間がなかったことから、利用者数は132,435人と目標値比111.5%となった。	A	B	C	C	C	C	D	C	日本パラ陸上競技連盟の育成及びJ-STAR合宿にあわせ、義足体験授業を開催し、パラスポーツの普及や多様性への理解に努めた。なお、当初予定していた、神戸世界パラ陸上競技大会日本代表合宿時の陸上教室は、コロナにより大会が延期になったため、中止となった。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】利用実績なし。 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】実施なし。 【三木町】チラシ配布等、各種イベントのPRを図った。 【直島町】町民の方に周知を行っていないため、取り組み実施がなかった。 【綾川町】実績なし。	
	46	地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供	トップスポーツチーム試合観戦者数	地域密着型トップスポーツ4チームのホームゲームにおける観戦者数	人	166,900	56,092	33.6	3ヶ年(H24年度~H26年度)の実績(前年比)の平均値を基に、算出している。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に引き続き、いずれのチームの観客数も目標値に対して大幅減となったが、回復傾向にある。目標値比33.6%。	D	B	A	B	B	B	C	B	圏域内の児童生徒等に、高松市内を拠点に活動している地域密着型トップスポーツチームの試合観戦の機会を提供するため、チーム等との連絡調整及び取りまとめ事務を行った。	【さぬき市】カマタマレ讃岐：ホームゲームでさぬき市民無料招待及びさぬき市特産物を提供。 香川ファイアローズ：ホームゲームでさぬき市民無料招待及びハーフタイム抽選会にさぬき市特産物を提供。 【東かがわ市】ファイアローズバスツアー、カマタマレ讃岐親子観戦バスツアー 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】チラシ等の配布。 【三木町】チラシ配布等、各種イベントのPRを図った。 【直島町】派遣事業として、小学校の授業等にファイアローズの選手を派遣する事業を打ち合わせをしていたが、日程が合わず断念した。 【綾川町】実績なし。	
	47	土地利用施策の広域的な連携・推進	-	-	-	-	0	0	集約型の都市構造に向けて、特定用途制限地域の見直しなど、広域的な観点から、土地利用施策の連携・推進を行うことで、都市機能や生活機能の集約・強化、居住人口の維持・誘導など、都市圏全体で取り組むことが期待できるため。	A							C	B	連携町が参加する、高松広域都市圏都市交通マスタープランフォローアップ委員会等の各種委員会、会議において本市における都市構造集約化の施策や状況について周知、情報共有をおこなった。	【三木町】広域的な取組みがないため評価なし。 【綾川町】実績なし。
	48	グリーン・ツーリズム等農業振興事業	グリーン・ツーリズム等参加者数	農業体験等のグリーン・ツーリズムを推進し、都市住民との交流促進及び農業所得の向上を図る。	千人	165	161	97.6	事務事業評価表に基づき目標値を設定している。県域での取組が主体となり、連携市町での取組の必要性がなくなった。	B				C	C	B			取組なし。	【土庄町】連携事業の実施には至っていない。 【小豆島町】県とともにパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信を行った。 【三木町】県とともにパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信を行った。
	49	獣害対策事業	二ホンザルの農作物への被害面積	高松市鳥獣被害防止計画に基づき、二ホンザルの農作物への被害面積	ha	2	0	20.5	OR4年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。 ○目標値に対する実績の理由：サルは個体数を減らすことで、農作物被害の減少を図る。効果的な設置と集落による被害防止活動への支援を行い、一定の効果が得られた。	B							B		サルの出没情報を共有し、出没頻度の高い地域に集中的にわなを設置した。これによりサルを5頭捕獲した。	【三木町】二ホンザル出沒場所等の情報共有を行った。
	50	産学官連携推進事業【再掲】	大学及び企業等との連携事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業等との連携事業数	事業	172	215	125.0	大学等との連携・協力事業数及び包括連携協定等を締結する企業等との連携事業数の合計とし、R5年度までに170事業を目指す。 R4年度は、新型コロナウイルス感染症の対策に配慮しつつ、目標を達成した。	A	B	B	C	C	A	C	B		年度前半は、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、9月以降の政府の新型コロナウイルス感染症対策の方針転換もあり行動制限が緩和されたことを受け、各種連携事業を推進しやすくなったこともあり、目標を達成できた。また、2者と新たな包括連携協定を締結した。包括連携協定締結後、各連携事業が形式的に実施されたり、終了されたりするなどの課題もある。	【再掲のため省略】
51	生涯学習推進事業	生涯学習コーディネーター養成講座参加人数	本市がほぼ毎月開催している生涯学習コーディネーター養成講座への年間参加延べ人数	人	480	391	81.5	R4年度目標：各コミュニティセンターから462人、土庄町、小豆島町各1人×9回出席=18人の合わせて480人を目標とした。新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、R3年度より増加した一方で、目標には達しなかった。	C							B	B	生涯学習コーディネーター養成講座を、年間12回実施し、連携町である2町に対して参加を依頼したが、参加者は0名であった。また、生涯学習センターで実施している講座を掲載している「まなびかんづめ」を連携町に送付し、連携町での周知等を依頼した。	【土庄町】各種講座について、情報共有・周知活動をすることができた。 【小豆島町】実施なし。	
52	男女共同参画センター学習研修事業	学習研修事業参加者数	学習研修事業に参加することによって、男女共同参画に関する意識が啓発される可能性が高い。	人	1,500	1,503	100.2	R4年度も、これまでの実績と新型コロナウイルスの影響も勘案して目標値を設定。目標達成理由としては、コロナによる制限が昨年度より緩和されたことが要因の1つと考えられる。	A							B	B	新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら、男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、オンラインを活用するなどしながら、各種セミナーや講座を実施した。 ○学習研修事業等 全54回	【土庄町】各種講座について、住民に周知した。 【小豆島町】実績なし 【綾川町】参画センターだよりを掲示。	



連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価							令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績	
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町
(※) 災害対策	53	災害時相互応援協定	-	-	-	0	0											<p>【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。 【土庄町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【小豆島町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【三木町】圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】圏域内に大規模災害が発生していないため実績はないが、平時から連携を図り、災害発生時に円滑な対応ができるよう備えた。</p>
	54	香川県消防相互応援協定	-	-	-	0	0	協定に基づく大規模災害時の相互応援体制を維持している。										<p>【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】大規模災害がなく相互応援は行っていない 【土庄町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【小豆島町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【三木町】圏域市町に大規模な火災が発生していないため、実績はないが、消防相互応援体制を維持し、不足の事態に備えた。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】相互応援協定を活用するような事例がなかったため、特になし。</p>
	55	高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	-	-	-	0	0	有事の際には、関係市町が空港事務所と連携して、消火救難活動を行うことができるよう協定に基づく協力体制を維持している。										<p>【三木町】本協定に定める緊急事態が発生していないため、実績はない。 【綾川町】協定を活用するような事例がなかったため、特になし。</p>
	56	消防業務の事務委託	-	-	-	0	0	受託町とともに消防行政を円滑化、迅速化し事業を実施できている。										<p>【三木町】委託している常備消防業務（火災出場、救急出場等）が適切に執行され、住民の安心・安全に寄与した。 【綾川町】常備消防事務委託</p>
	57	地域防災対策事業	講演会等に参加した自治体数	高松市主催で開催している市民防災講演会や、情報交換会に参加した自治体数	自治体	8	8	100.0	目標値の根拠：圏域7市町と、災害時の通信方法を確認するため。 評価の理由：本市主催で開催した市民防災講演会を新型コロナウイルス感染症対策としてWEB参加も可能としたことで、圏域7市町に参加いただき、地域防災に活かしていただいた。また、その後開催した情報交換会も会場とWEB併用で開催し、各市町が抱える課題について、情報共有を図ることができた。また、顔の見える関係を築けたことで、連携強化が図れた。									<p>【さぬき市】高松市主催の市民防災講演会（12/23）への出席と情報交換会に参加した。 【東かがわ市】震災対策総合訓練に参加、また、高松主催の市民防災講演会に出席し、終了後に7市町での情報交換会に参加した。 【土庄町】高松市が主催する防災講演会及び情報交換会に参加した。（リモート） 【小豆島町】担当者が会し、情報共有を行った。（WEBでの参加を含む） 【三木町】市民防災講演会への出席と連携市町での意見交換会を実施した。 【直島町】高松市主催の市民防災講演会（1/25）へ出席し、講演会後に8市町で情報交換会を実施した。 【綾川町】令和5年1月25日に高松市で開催された防災担当者情報交換会に参加し、圏域市町の取組みや課題を知ることができた。</p>
	58	広域航空写真地図データ整備	活用事業数	広域航空写真地図データの活用事業の数【活用事業】 1 防災 2 課税（主に土地の利用状況調査に使用） 3 インフラ整備（カーブミラーやガードレールの設置等） 4 財産管理（市の土地の状況確認） 5 都市計画課（都市計画図作成）	事業	5	0	0.0	R4年度は、圏域市町の航空写真を撮影、データ化し、各圏域市町及び活用課の各システムへ実装するための整備をする年度のため、目標値及び評価はなし。									<p>【さぬき市】航空写真の共同撮影及びデータ整備を行った。 【東かがわ市】航空写真を撮影し、各業務のシステムに取り込みを行った 【土庄町】高松市ほか7市町共同で地図情報（デジタルオルソ画像）作成を実施。固定資産税の課税のみならず、防災やまちづくり関連事業等において活用した。 【小豆島町】高松市ほか7市町共同で地図情報（デジタルオルソ画像）作成を実施。固定資産税の課税のみならず、防災やまちづくり関連事業等において活用した。 【三木町】広域航空写真地図データを整備等を行い、防災、インフラ整備等に活用しながら、圏域内の生活機能の強化等に取り組んだ。 【直島町】高松市が中心となって、県内ほか7市町の共同地図情報(デジタルオルソ画像)の作成を委託している。 【綾川町】圏域市町において航空写真の共同撮影を実施。</p>

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価							令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
(7) 環境	59	一般廃棄物の処理・処分に係る業務	-	-	-	0	0		0	A								綾川町から委託を受け、西部クリーンセンターにおいて、綾川町の区域から排出される一般廃棄物約5,091t(し尿及び浄化槽汚泥を除く。)の中間処理(焼却、破砕)を行った。また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分に係る業務を綾川町に委託し、焼却灰約2,084tを綾川町一般廃棄物最終処分場へ搬出した。また、綾川町一般廃棄物最終処分場(綾川町西分)の整備に伴う実施設計の一部を負担した。	【綾川町】綾川町から排出される一般廃棄物を高松市西部クリーンセンターにて中間処理(焼却・破砕処理)を継続して実施。 また、高松市西部クリーンセンターから排出される高松市国分寺町分の焼却灰を綾川町一般廃棄物最終処分場にて埋立処理を継続して実施。 一般廃棄物最終処分場土堰堤高上実施設計業務を実施。
	60	し尿処理に関する業務	-	-	-	0	0	住民の安全な生活と環境を守るため、し尿処理施設を持たない三木町及び綾川町から排出されたし尿及び浄化槽汚泥の処理を行うことは、住民ニーズ及び社会情勢上妥当であると判断するが、義務的事業である側面が強く、毎年度同程度で推移しているため。令和4年度処理計画量については、区域内処理人口から算出している。	B					A	A	三木町・綾川町から排出された、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。また、本市と綾川町が共有している国分寺町し尿貯留槽の管理を綾川町に委託した。処理実績61,419kl (内訳) し尿 浄化槽汚泥 計 三木町 1,216kl 5,688kl 6,904kl 綾川町 1,103kl 3,550kl 4,653kl 高松市 9,141kl 40,721kl 49,862kl 計 11,460kl 49,959kl 61,419kl	【三木町】三木町内で排出されたし尿・浄化槽汚泥の処理を実施。 処理実績 6,904kl(し尿1,216kl、浄化槽汚泥5,688kl) 【綾川町】し尿中間貯留施設の擁壁破損部分の修繕及び施設内水路の草刈り整備を実施。栈橋撤去事業の事前協議の実施。		
	61	環境学習等推進事業	環境学習講座参加者数	環境学習講座(環境ワークショップ)、出前講座及び自然観察体験事業の参加者数の合計	人	2,375	1,799	75.7	R5年度の目標値を2,400人としており、その目標の達成に向けて段階的に設定した。参加人数を制限するなど、新型コロナウイルス感染防止対策の影響もあり目標値には達しなかったため。	B	B	C	B	B	A	A	B	【さぬき市】緑のカーテン育成講習会を実施した。 【東かがわ市】ごみの減量化に係る出前講座 1回 緑のカーテン講習会を実施 1回 高松市が実施する環境学習を市HPで周知 【土庄町】関係団体等と協議。イベントについては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため募集等はなかった。 【小豆島町】取り組み実績なし。 【三木町】11月頃に親子で学ぶ環境教室を実施予定 【直島町】直島小学校環境教室を3回開催。 (干潟観察、アマモ見学、ハマチ・ノリの養殖見学、ノリ濃き体験) 環境フェスタを開催し、約1,000人の参加者へエコについて、考える場を提供。 【綾川町】水生生物調査に合計57人が参加した。ごみ収集・分別についての出前講座40名が受講した。	
62	環境負荷の少ない自動車の普及促進	電気自動車の普及台数	環境に負荷の少ない電気自動車を多くの住民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際における電気自動車購入の意識付けを行う。また、急速充電器の管理・運営を行うとともに、充電設備の設置状況の情報提供を行うことなどにより、電気自動車の普及を図る。	台	816	466	57.1	過去の電気自動車保有台数(実績)の平均増加率と同程度の増加分が今後も継続するものとして目標値を算出。保有台数は例年増加する傾向にあり、達成率も57.1%と伸びる傾向にはあるが、目標には届いていない状況である。	B	C	C	B	B	C	C	C	環境展及びゼロカーボンシティ展で電気自動車等次世代自動車普及啓発パネルを展示し普及啓発を図った。また、車体をラッピングした公用電気自動車を市内走行させPRするとともに、走行実績に伴う温室効果ガス削減量等の情報をホームページに掲載した。さらに、市が市内道の駅等3か所に設置した急速充電器の情報発信と運営管理を行った。 【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】市独自の取り組みがなく、高松市実施の事業への参加も行っていない 【土庄町】他事業で電動キックボードを使った、地域限定ツアーを行った。 【小豆島町】圏域内の連携行動は特になし。 ※小豆島町が独自に整備した充電施設などの保全に努め、当分のあいだ無償利用とすることで、電気自動車の普及を促進。 【三木町】再生可能エネルギー導入戦略や地球温暖化対策実行計画を策定し、環境負荷の少ない自動車の今後の導入を検討する。 【直島町】町が率先して、電気自動車の使用を行い町民に啓発活動を行った。 【綾川町】取り組み実績なし		

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)					連携市町評価							令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績						
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町			
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(ア)	地域公共交通	63	小型家電等リサイクル推進事業	年間回収量	市が実施するボックス回収・ピックアップ回収・イベント回収により回収された使用済小型家電の総量	トン	13	18	138.2	市民への周知・啓発活動を行い、使用済小型家電の回収量増加と循環型社会の意識の啓発につなげること目標としている。 回収目標については、令和3年度から回収対象品目を新たに11品目追加し32品目へ増やしたことにより、令和3年度の実績が16.2トンと従前から大幅に増加したことから、令和4年度においてもその状況は継続すると想定し目標は12トンと設定している。 令和4年度は、前年度から引き続き回収品目が増えていること及び市民への周知・啓発活動に努めたことから、前年度と同程度の回収量を確保することができた。	A	B	B	B	B	A	A	A	・引き続き、市内23か所でのボックス回収、ピックアップ回収、イベント時の回収を行った。 ・「小型家電等リサイクル推進事業担当課長会」は、新型コロナウイルス感染症対策のため開催せず、連携市町の実績調査と結果をフィードバックし、情報共有を行った。	【さぬき市】市役所本庁舎及、総合支所及び出張所の計4か所においてボックス回収を行い、合計440kgの回収があった。 【東かがわ市】拠点3か所でのボックス回収を実施し、回収及び周知を行っている 【土庄町】他事業で電動キックボードを使った、地域限定ツアーを行った。 【小豆島町】拠点2か所でのボックス回収を継続して実施。 【三木町】引き続き、町内2か所に小型家電回収ボックスを設置して回収する。 286kg 【直島町】ピックアップ回収 年間総量8.7トン 【綾川町】回収量1,250kg (参考：R3年度1,180kg)	
			64	不法投棄対策事業の推進	不法投棄撲滅ふれあいグリーン作戦参加者数	各市町が連携して地域住民及びボランティア参加のグリーン作戦を実施することで、地域の環境美化と不法投棄撲滅に対する意識啓発を図る。	人	3,600	0	0.0	毎年実施している不法投棄撲滅グリーン作戦の参加者数を目標値として設定している。しかしながら、R4に関してはすべてのグリーン作戦が新型コロナウイルスの影響により、中止になったため、参加者は0人である。なお、地域一斉清掃という形での地元による不法投棄対策は一定程度進んだ。	D	B	B	B	B	A	A	B	新型コロナウイルスの影響により、全5グリーン作戦を中止した。	【再掲のため省略】	
			65	ICカードを利用した公共交通利用促進事業【再掲】	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、ICカード「IruCa」を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	2	3	150.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。 R4年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	A	B	B	B	A	A	A	A	R4年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】R4四国各駅での利用・導入に係る検討状況等について協議した。 【土庄町】航路及び路線バスの利便性向上を図るため、バス及び航路でICカードが利用できる旨の周知広報及び運転免許証自主返納支援事業としてICカードの発行を引き続き行った。 【小豆島町】- 【三木町】担当者間で事業促進の協議を行い、広報などでICカードの利用促進についてPRした。 【綾川町】ゴールドイカ事業を継続実施。 セーフティイカ（70歳未満の運転免許証返納者）へのサービスも継続実施。	
			66	コミバス等へのIruCa導入事業	コミバス等へのIruCa導入事業参加自治体数	取組の目的は、ICカード「IruCa」による各種割引サービスの適用を受けることができるよう、コミバスにシステムを導入し、利便性の向上を図るものであり、施策の参加自治体数を増やす。	自治体	3	2	66.7	毎年1自治体追加することを目標として設定した。 令和4年度も、連携自治体に対し、引き続き有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有した。	B	B	A	A	A	B	B	B	B	連携自治体に対し、令和4年度も引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】圏内での活用状況等について協議し、コミュニティバス導入に係る費用対効果を検討した。 【土庄町】コミバスでのIruCa運用を開始した。 【小豆島町】- 【三木町】担当者間で事業促進の協議を行い、広報などでICカードの利用促進についてPRした。 【綾川町】綾川町地域公共交通計画の策定。
			67	地域公共交通再編事業	圏域市町と高松市をアクセスするバス路線数	取組の目的は、連携市町と高松市間の公共交通によるアクセス手段を確保することにより、公共交通の利便性向上を図るものであり、自治体を繋ぐバス路線数を増やす。	路線	3	3	100.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。 R4年度は、事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	A	B	B	A	A	B	B	B	B	R4年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【再掲のため省略】
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(イ)	ICTインフラ整備	68	データ活用型スマートシティ推進事業【再掲】	連携して収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	IoT共通プラットフォームを活用して、各市町と連携し、収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	分野	2	1	50.0	R5年度KPI目標を見据え、連携するデータ分野の拡大を目指し、R4年度目標を設定。R4年度は、新しいデータ分野の連携には至らず、R3年度の状況維持となった。	A	B	A	D	B	B	C	B	本市のIoT共通プラットフォーム（FIWARE）の共同利用について、綾川町と締結している協定に基づき、R2年度より防災分野において、水位計データや降水量データ等の共有・可視化等を実施している。（なお連携中枢都市圏以外で観音寺市とも共同利用を実施している。）	【さぬき市】事務局会での情報交換を行った。 【東かがわ市】瀬戸・たかまつネットワークの関係者による情報連携 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】高松市との連携体制の構築。 【三木町】担当者間の調整を行った。 【直島町】運用コスト面など引き続き検討を行った。 【綾川町】出水期において避難指示を発令するような事例がなかったため、実績としては特になが、水位監視と監視カメラは正常に稼働している。	



連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価							令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
	69*1	校務支援システムの統一に向けた連携・推進	校務支援システム連携自治体数	高松市の校務支援システムの共同利用を実施している自治体数	自治体	0	0	0.0	未設定	D						B		校務支援システムの統一に向け、5月に打合せ会を実施。11月にも電話にて協議を行ったが、サポート体制やセキュリティポリシー等の面で令和5年度でのシステムの共同利用は困難であることを共通理解した。	【三木町】現状確認、今後の見直し等の情報共有を実施。
	69*2	校務支援システムの統一に向けた連携・推進	システム統一による業務削減時間数	高松市の校務支援システム導入後の共同利用による業務削減時間数	-	0	0	0.0	未設定	D						B		校務支援システムの統一に向け、5月に打合せ会を実施。11月にも電話にて協議を行ったが、サポート体制やセキュリティポリシー等の面で令和5年度でのシステムの共同利用は困難であることを共通理解した。	【再掲のため省略】
	70	橋りょう改築修繕事業	-	-	-	0	0	-	-	B	C	B	B	C	B	B	B	橋りょう長寿命化修繕計画について、香川県内の道路管理者等で構成される「道路メンテナンス会議」を通して点検状況の報告を行い、圏域全体での情報共有を図った。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】具体的な連携は行われていない。 【土庄町】道路管理者として橋梁の点検を近接目視により5年に1回の頻度で行うことになっており、R4年度はコンサルタント委託にて調査を行ったが、特に高松市と連携して行う案件が無かったため、連携した取組実績は無かった。 【小豆島町】道路メンテナンス会議に出席して情報共有を行った。 【三木町】「道路メンテナンス会議」にて情報共有を行った。 【直島町】前年度の点検結果を踏まえ、修繕等はなかった。 【綾川町】道路メンテナンス会議に出席。
	71	道路新設改良事業	-	-	-	0	0	-	-	B	B			C		B	B	行政区域界での生活道路(市道)の新設改良工事について、該当がなかった。	【さぬき市】取組実績なし。 【土庄町】道路管理者として必要な町道の新設や改良工事を行ったが、特に高松市と連携して行う案件が無かったため、連携した取組実績は無かった。 【三木町】行政区域界における市道・町道の新設改良工事がなかったため、実績なし。 【綾川町】実績なし。
	72	広域航空写真地図データ整備【再掲】	活用事業数	広域航空写真地図データの活用事業の数 【活用事業】 1 防災 2 課税(主に土地の利用状況調査に使用) 3 インフラ整備(カーブミラーやガードレールの設置等) 4 財産管理(市の土地の状況確認) 5 都市計画課(都市計画図作成)	事業	5	0	0.0	R4年度は、圏域市町の航空写真を撮影、データ化し、各圏域市町及び活用課の各システムへ実装するための整備をする年度のため、目標値及び評価はなし。	A	A	A	A	A	A	A	A	R4年度に圏域市町の航空写真を撮影、データ化し、各事業へ利用できる品質であるかどうか確認する。	【さぬき市】航空写真の共同撮影及びデータ整備を行った。 【東かがわ市】航空写真を撮影し、各業務のシステムに取り込みを行った 【土庄町】高松市ほか7市町共同で地図情報(デジタルオルソ画像)作成を実施。 固定資産税の課税のみならず、防災やまちづくり関連事業等において活用した。 【小豆島町】高松市ほか7市町共同で地図情報(デジタルオルソ画像)作成を実施。 固定資産税の課税のみならず、防災やまちづくり関連事業等において活用した。 【三木町】広域航空写真地図データを整備等を行い、防災、インフラ整備等に活用しながら、圏域内の生活機能の強化等に取り組んだ。 【直島町】高松市が中心となって、県内ほか7市町の共同地図情報(デジタルオルソ画像)の作成を委託している。 【綾川町】圏域市町において航空写真の共同撮影を実施。
(工)	地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	73	ブランド農産物育成支援事業【再掲】	たかまつ食と農のフェスタにおける出展者販売額	たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町からも出展してもらい、地域の特産物のPR及び販売促進を図る。	千円	9,000	8,670	96.3	事務事業評価表に基づき目標値を設定している。4年ぶりに連携市町参加のもと、イベントを開催し、概ね目標を達成できた。	A	B	C	A		A	新型コロナウイルス感染症対策を講じ「たかまつ食と農のフェスタ2023」を開催した。	【さぬき市】たかまつ食と農フェスタにさぬき市から2団体(飯田農園、さぬきワイナリー)が出展し、特産品のPR及び販売促進を行った。 【東かがわ市】東かがわ市農作物トップセールスを未実施 【土庄町】たかまつ食と農のフェスタに出展し、町の特産物のPR及び販売促進が図れた 【綾川町】令和5年2月25日(土)及び26日(日)に開催されたたかまつ食と農のフェスタに町内の農業者団体であるアグリネット綾川農産部会が参加した。	
(オ)	地域内外の住民との交流・移住促進	74	自然体験等を通じた住民の交流の促進	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトへのアクセス数	イベント情報を掲載する瀬戸・高松広域連携中枢都市圏のホームページのアクセス数	件	5,100	6,946	136.2	H29年度実績(訪問者数)をベースに、圏域人口(ビジョン目標)の1%を最終年度の目標とし、漸増を目標とする。 瀬戸内国際芸術祭2022の開催も相まって、目標値を大きく超えた。	A	B	C	C	C	B	C	H28年度に構築したポータルサイトについて、適切な保守・管理を行いながら、都市圏ビジョンに基づく取組や本市及び連携市町の魅力の発信を行った。 瀬戸内国際芸術祭2022の開催も影響したと思われ、R5年度達成目標値も大きく超えた。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】市内団体の自主的な取組を支援したが、新型コロナウイルスの影響でイベントの中止や縮小があった。その一方で新たなイベントの開催も支援した。 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】取り組み実績なし。 【三木町】自然体験に特化したイベントは未実施であるが、今後開催する際には情報発信で周知を行う。 【直島町】自然体験等を盛り込んだイベントは行っているが、圏域内での情報共有は行っていない。 【綾川町】新たに追加した項目はない。

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価							令和4年度高松市取組実績	令和4年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和4年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	75	移住・交流促進事業	圏域市町全体の社会増減	移住促進策の実施に伴う、圏域全体での社会増減数	人	1,180	677	57.4	「第2期たかまつ創生総合戦略」に基づき、目標を設定。行動制限や入国制限の緩和によって人口移動が回復傾向にあり、令和4年は再び社会増に転じたが、目標達成には至らなかった。	C	B	A	B	B	A	A	B	「瀬戸・たかまつ移住 & キャリアサポートセンター」における相談対応やセミナー・イベントの開催を通じて、圏域内の魅力発信や移住促進を図った。 また、香川県移住・定住推進協議会の一員として、他市町とともに東京・大阪における各種移住フェアに積極的に参加した。	【さぬき市】移住フェアに参加した。 オンライン移住相談会・セミナーに参加した。 【東かがわ市】瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンターにおいて、首都圏、近畿圏を始めとする全国の移住希望者を対象に、移住に関する相談対応や情報発信を行った。 【土庄町】空き家バンク、島暮らし体験の家の運営、オンラインでのセミナー・フェアへの参加などの移住促進施策に取り組んだ。(実績：1・Jターン 121組144人、Uターン53組70人) 【小豆島町】小豆島町移住者数(1・Jターン)166人(Uターン)65人 オンライン移住相談会 年1回 オンライン移住セミナー 年5回 移住フェア東京 年1回 移住単独セミナー東京 年1回 移住フェア大阪 年2回 空き家見学ツアー 年4回(小豆島町2回、土庄町2回) 【三木町】 移住オンラインセミナー 1回(相談件数 3件) さぬき市と合同実施圏域の移住イベント 1回 【直島町】オンライン移住セミナー3回 【綾川町】かがわ県の「よけり移住情報イベント」jin 東京2023に参加し、対面での移住相談を実施できたことと他市町との連携を図ることができた。 また、瀬戸・たかまつキャリアサポートセンターを通じたオンライン移住相談会を積極的に開催した。
	76	人材育成事業、合同研修等の実施	合同研修の開催回数	合同研修の機会を増やし、圏域自治体職員の能力向上及び市町域をまたいだ交流や連携を図るため。	回	5	6	120.0	人材の育成・交流及び圏域のマネジメント能力の向上を図ることができる研修を合同で実施する。R4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、予定していた研修回数を上回って実施できた。有効性・効率性の面においては、今後も各市町から要望を聞きできる限り多くの職員に参加してもらえようになりたい。	A	C	C	A	A	A	C	A	実践的政策形成能力を高めるための研修を始め、行政環境の変化に対応できる幅広い視野を養うための教養講演会を合同で実施し、圏域内市町職員の能力・資質の向上を図った。また、窓口対応を始め色々な場面で、外国人とコミュニケーションをとる機会が増えていることから、令和4年度から「やさしい日本語研修」を新たに実施した。 【開催回数】・業務改善能力向上研修 1回 ・OJT研修 1回 ・手話技術研修 1回 ・キャリアデザイン&モチベーションアップ研修 1回 ・女性職員エンパワー研修 1回 ・やさしい日本語研修 1回	【さぬき市】令和4年度については、研修参加者なしであった。 【東かがわ市】参加者なし 参加希望者を募ったが、業務の都合等で参加希望者が集まらなかった。 【土庄町】合同研修に参加した。 【小豆島町】2回の研修に各1名が参加した。(係長職員研修、女性職員エンパワー研修) 【三木町】令和4年度瀬戸・高松広域連携中枢都市圏交流研修の【一般職員第Ⅱ部研修(業務改善)】、【係長研修】、【手話技術研修】、【女性職員エンパワー研修】、【キャリアデザイン&モチベーションアップ研修】に各1名参加。 【直島町】令和4年度について、研修参加者なしであった。 【綾川町】一般職員第Ⅱ部研修(業務改善)、係長職員研修、女性職員エンパワー研修及びキャリアデザイン&モチベーションアップ研修に各1名参加。
	77	地域コミュニティ人材養成事業	講演会・講習会の参加者数	地域のリーダー養成を目的として実施している人材養成事業の参加者が増加することで、地域コミュニティの自立と活性化が図られる。	人	150	62	41.3	前年度と事業形態に変更が無いため、前年度目標値及び実績を基に設定。	C	B	B	C	B	C	C	B	講演会等の内容、それに伴う講師の人選等について検討するため、大学講師との協議も行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。	【さぬき市】市政懇談会については、昨年に引き続き規模を縮小して実施した。 【東かがわ市】講演内容の調整を行い、開催に際しては地域コミュニティ協議会等への周知を行った。 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】2回の研修に各1名が参加した。(係長職員研修、女性職員エンパワー研修) 【三木町】新型コロナウイルス感染拡大により参加できていない。 【直島町】日程が合わず講習会・講演会に参加できなかった。 【綾川町】新型コロナウイルス感染拡大により参加できていない。